

Wana

**広報** **イキシア**

2023年5月  
**92号**

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっと関心を集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。



**本部拠点**



**柏拠点**



**千葉拠点**



**長生拠点**

## 『節目に思う』

理事長 寺田 一郎

## 個人の節目、法人の節目

個人的に昨年度(二〇二二年度)は、大きな区切りの年になりました。そのひとつが協議会を退任したことです。

現行の障害者総合支援法(旧障害者自立支援法)が施行されたのが、二〇〇六(平成十八)年ですが、同法は、都道府県と市町村に障害者自立支援協議会(二〇二二年に法定化「協議会」と改称)の設置を求めています。努力義務ですが、それでも全国で二〇〇%の設置率です。

私は、千葉県の相談支援専門部会長と山武郡市自立支援協議会会長を引き受けてきました。それぞれ十五、十六年になります。県の相談支援専門部会は、相談支援従事者やサービスマン管理責任者の研修も所掌しています。私にとってこれは長年取り組んできたケアマネジメントを福祉現場に適用する最前線、という思いがありました。

全国的にみると「協議会」の活動は形骸化しているという厚労省の指摘もあります。しかし、手前みそですが、千

葉県の相談支援従事者研修は、毎年七〇〇人程度の参加者がありますが、講師やファシリテーターの全てを県内関係者で賄っています。私は勝手に千葉県方式と呼んでいますが、これは全国でも稀な研修体制です。勤務している法人から出張扱いとされずに有給休暇を取って協力してくれる講師も少なくありませんでした。

また山武の協議会では、毎月の事務局会議を中心に地域向けの研修会が何度も企画されますが、その度に、関係機関や自治体の方々が協力してくれました。

本当に感謝です。後期高齢者に加えられる年齢になったことで引退を決断しましたが、これは私にとって大きな節目になるだろうと思っています。これからは、ワーナーホームの仕上げを行う時間にするという訳です。かなり肥大した運営体制、事業体系などを根本から見直す時期が来ています。これは法人にとっての節目です。

## 五か年計画

節目として、まず中期計画(五か年計画)で、運営も施設設備も含めた現在の課題を整理し順番に片づけて行こうと考えています。拠点毎に直面している課題や将来の課題になりそうな事柄を整理し、解決方法について見直しをつけておく、という作業になると思われまます。この作業を通して職員

の能力も開発できたらいいな、なんて密かに期待しています。二三年度中には、計画案として完成させたいと思っていますが、我がワーナーホームは現場からどんな計画がいつ上がってくるか、分からないところがあります。それはワーナーの活力、と大事にしています。どうなるのか楽しみながら完成の日を待つことになりました。

## 精神医療と闇の実態

二月二十五日、ZENEKINの特集「ルポ死亡退院と精神医療 闇の実態」という番組が放送されました。

東京都八王子市にある滝山病院を取材して患者さんに対する暴言・暴力を精神医療の

知られざる一面として報じていました。

『うっせえな、殺すぞ』

『泣いたらゲンコツでたたくぞお前』

これらは、看護スタッフが患者さんに投げた言葉です。

ナレーション『五十年以上にわたり地域の精神医療を担ってきた病院。過去十年分の患者リストから、退院する患者さんの七十八%が死亡退院だった』

この病院には、今年二月に警視庁が捜索に入り看護師一名逮捕、三人について捜索中という。患者リストからは、家族の実態も浮かびあがってきます。

家族欄には「音信不通。今後一切かわりたくない、死亡時もテレしなくてよい」と書かれています。そこには、同居していた家族が暴力や夜中に奇声をあげたり俳諧することで家族も心身が疲弊している、負担を抱えきれなくなった家族が病院を頼っている実情がありました。

また、入院患者のうち五十四%が生活保護を受けているとのこと。元福祉事務所ケースワーカーの話です。「福祉事務所のワーカーは事務が過大になって疲弊している。精神科の患者は濃厚な支援が必要な方ですから、行き場のない人の対応は困難を極める」

ここには、疲弊していく家族と行政職員が最後のよりどころとしてこのような病院に頼らざるを得ない実態があります。また、他の精神科病院からは、透析が必要な患者さんが転院してくるといいます。他の病院からも最終的に頼りにされている病院なのです。そこでは、違法な拘束や虐待が続いている…

これを「必要悪」という一言では片づけられません。また、この病院や福祉行政を批判しても解決しません。キーワードは疲弊。福祉業界でも同様の指摘があります。その原因に関係者は気づいています。番組は暗に障害特性にも目を向けろ、とも訴えています。三十七年前にワーナーホーム・ホレブ寮が開所しました。「病院と地域のパイプ役」、「ご家族に代わる第二の家族」という思いがありました。

今、このことが改めて突き付けられているように思えます。私たちが向けられている期待は、ケア児対応にみられるように極めて多様化しています。併せてスタッフの専門性も多様化しています。今こそ、信頼する仲間と支え合うとき。ワーナーのこれからの五か年計画は、この解決策を見つけてることに他なりません。

# 2023年度 事業計画

## 本部拠点 (居住系事業所)

- ケア付き共同住居
- 共同生活援助  
(日中サービス支援型)  
(介護サービス包括型)
- 短期入所(単独型)



統括施設長  
武藤 朱里

今年度、本部拠点居住系事業所の計画は、①感染症対策等研修参加、②施設整備等中期計画、③利用料改定の三つの目標を掲げます。

一つ目の感染症対策については、昨年度、ついに本部拠点居住系利用者も陽性者が出ました。職員の協力的体制により、重症化は免れましたが、利用者の年齢を考えると油断はできません。法人内研修に積極的に参加して知識・技術を身につけられるようにします。

二つ目の施設整備等中期計画については、ホレブ寮、だいちでは建物の老朽化が大きな課題となっています。利用者の状況に合わせて事業運営や施設整備、建て替え等も検

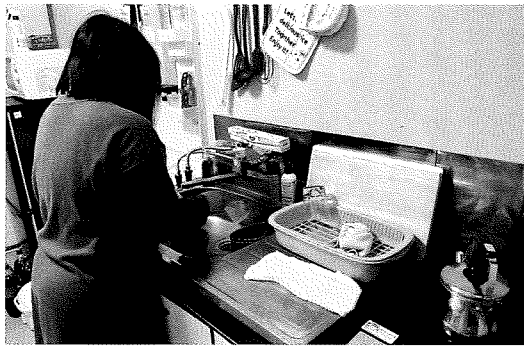
討します。

三つ目は、水光熱費や食材費などの物価高騰に対応するため利用料の見直しを行い、居住系全体で利用料の改訂を行います。

【新ホレブ寮・クロワール・ファミーユ】

新ホレブ寮の空き室と定員割れの状況や、クロワール利用希望者への対応から、事業展開を検討し定員の変更を行います。そのために必要な施設整備を行います。ファミーユは高齢利用者の対応のため、支援計画の見直しにより生活の安定を図ります。施設整備として、居室収納部分が老朽化により故障が多いため、改修工事を全居室行います。

【シエスタ・ノバハイツ白里】  
シエスタは長期的利用と



なっている利用者もおりますが、見守りが必要な方の緊急受け入れを行います。ノバハイツ白里は、クロワールやシエスタと併せて短期入所事業の運営を見直します。

【だいち】

職員が常駐でない共同生活居住利用者の支援について、金銭管理や服薬確認の課題を日中活動系事業所と協力して対応できるようにします。昨年度開始したエルガラン(サテライト型住居)は、三年間の利用期限を有効に活用できるように利用料の見直しを行い、単身生活をイメージできるようにします。

最後に、本部拠点居住系事業所の平均年齢や平均区分が年々上がっています。重度・高齢利用者の受け入れを行う役割を果たせるよう職員育成を重点的に行います。

また、コロナウイルス流行前のような余暇活動や地域交流ができるよう工夫します。

## 本部拠点 (日中活動系事業所)

- 生活介護
- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 就労定着支援
- 相談支援(特定・一般・障害児)
- 障害者就業・生活支援センター



統括施設長  
野老 順子

通所系事業所において、精神障害者の支援を主としつつも知的障害者、身体障害者の利用が増えおり、様々な障害特性に合わせた支援が求められます。相談技術・介護技術など職員の支援力を高めることが課題です。所内研修・事業所内研修を通して育成を図ります。また、利用者の障害特性、適正に合わせて日中活動の場が利用できるように利用者のアセスメントをしっかり行い福祉サービスを提供していきます。

相談支援事業所は、困難ケースが増えています。朝の申し送り、処遇検討会議等の場で、積極的に支援方針、対



応等を議論し情報を共有し、相談支援専門員が抱え込まないよう協力体制を築いていきます。

建物のメンテナンスが必要となつてきています。施設管理や修繕を行い、より良い環境でサービスを提供していきたいと思ひます。

【ホレブデイサービスセンター】  
新型コロナウイルス感染症防止対策をしながら日々のプログラムの充実を図ります。また、活動場所を一ヶ所で実施できるように検討していきます。

【ワークショップしらさと】  
個別送迎対象者が増えたことで、申し送り等で職員の不在が多くなつています。利用者支援や情報共有が疎かにならないために、職員間のコミュニケーションの充実を図っていきます。

【ワークショップおおあみ】  
新規受注先の開拓や受注企業

【山武ブリオ】  
令和八年七月までに段階的に法定雇用率を引き上げること、制度改正によって令和六年度より短時間（十時間以上二十時間未満）で働く労働者の算定が可能になります。障害者雇用に苦慮している企業も多い中、更なる雇用を推進していくために、企業情報の収集とスタッフ間の情報共有を迅速かつ適切に行い、求職者と企業のマッチングを図り支援していきます。

とこまめに連絡を取り合い受注量が不安定にならないよう作業を提供していきます。

【パンプキンハウス】  
福祉サービスに繋がらないケースや困難ケースは、山武郡市障がい者基幹相談支援センターと協力関係を築き支援していきます。



今年度は山武圏域での地域生活支援拠点の整備に向けて、市町と事業所を含めた具体的な協議・準備の年です。基幹相談支援センターは、すでにワーカーでこの事業に取り組んでいる柏拠点、千葉拠点の例も参考に、行政、事業所との調整やコーディネートを行って、その実現を目指します。

山武郡市障がい者基幹相談支援センター（さんさぽ）は開設して一年が経ちました。相談への対応や事業所への支援、市町との連携や自立支援協議会の事務局業務などを通し、徐々に役割と存在感を示せたかなと考えています。

センター長  
**山岡 功平**

ワークショップおあみ（就労移行支援、就労継続支援B型）は、工賃の主な収入源であるパン販売を更に向上させるため、焼き菓子類を充実させ前年度を上回る売上目標を掲げています。受注作業班、環境

千葉拠点は、下総精神医療センターとの密な連携の下、事業を展開しています。

フジエール（共同生活援助）は、いわゆる処遇困難とされる方も積極的に受け入れ、重篤な精神障害があつても充実した地域生活が送れるよう、利用者さん一人ひとりの障害特性や興味関心を大切にしながら、引き続き職員一同支援に邁進していきます。空床利用型の短期入所は空室ができず受け入れができない状況が続いています。

共同生活援助  
（介護サービス包括型）

- 短期入所（空床利用型）
- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 相談支援（特定・一般・障害児）

施設長  
**末永 慎介**



現在千葉拠点では、「千葉拠点新規事業プロジェクト」として、拠点事業の拡張を目指しています。増え続ける相談支援の役割にこたえられるよう、地域移行支援の受け皿としてのグループホームや、退院後の社会経験を積む場としてのパン店舗、工房の増築を目指しています。

整備班、印刷班も利用者が充実感を得られる時間となるよう改善を図ります。

兼取相談支援センターは、市内精神科からの地域移行支援の新規依頼が引きも切らず、いわゆる処遇困難ケースも増えています。地域移行支援の実績を積み重ねてきた事業所として、にも包括、や千葉市地域自立支援協議会を通して、関係機関を活用し地域移行を推進できる地域の支援体制作り積極的に関与していきます。

# 柏拠点

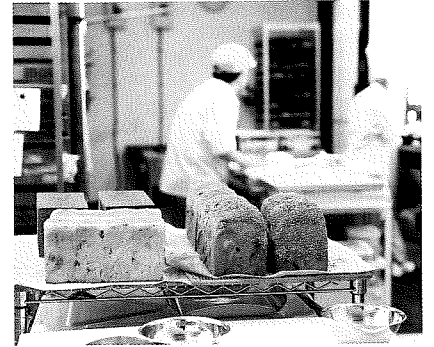
- 地域生活支援拠点
- 地域活動支援センター
- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 就労定着支援
- 共同生活援助
- 介護サービス包括型
- 短期入所(空床利用型)
- 相談支援(特定・一般・障害児)
- 居宅介護事業
- 訪問看護
- 放課後等デイサービス
- 児童発達支援
- 日中一時支援



統括施設長  
大久保 夏樹

**安心して育ち暮らせる未来をワーカーホームから**

二〇二〇年度から開始した医療的ケア対応「すくすくハウス」設立プロジェクトは、二〇二三年六月末施設の完成をもって、プロジェクトの完了となります。法人につながるみなさまにいただいた力強く温かい応援のおかげでプロジェクトを進めていくことができました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



ました。

しかし、ここがゴールではなく、ここから新たなスタートとなることは言うまでもありません。医療的ケアや肢体不自由児者に対応する社会資源が不足している柏市北部に、医療的ケア対応「すくすくハウス」が完成し、既存の事業を一部移転拡張し、運営を開始します。医療的ケアママサロンから始まった「すくすく」も複数事業所を運営するに至り、障害児通所支援では対応できなかった障害者や、夜間の対応も可能になります。ワーカーホームがその人らしい育ちや暮らしを支えたいと願い、実施する事業の意味に立ち返り、新しく仲間に加わってくれた職員とともに、丁寧にご利用者に向き合っていきたいと思えます。

また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構

築においては、当事者（ピア）の想いや意見を反映した取り組みを意識してきた段階から、より一層彼らが主体的に暮らしやすい地域づくりや、しくみづくりに参画できる段階を目指します。

**重点課題**

- 一、医療的ケア対応「すくすくハウス」の安定運営
- 二、就労系事業の住み分けと連携
- 三、働き方改革

**組織基盤整備**

・情報共有、コミュニケーションツールの導入（離れた施設にいる管理者や事務担当者のタイムリーな情報共有や意思決定、コミュニケーションの必要性）

**施設整備**

・一号館の老朽化、雨漏り対策

**財務面**

・すくすくハウスの早期黒字化（既存事業の稼働率アップ、新規事業の利用者獲得、通学支援、医療的ケア対応短期入所などモデル的事業の報酬改定への要望）

などなど、課題は多岐にわたりますが、組織が大きくなっていく中で、ワーカーホームの大切にしてきた価値観を失わず、必要とされている方に必要な支援を届けられることのできる法人として成長していきたいと思います。

# 長生拠点

- 相談支援(特定・一般・障害児)
- 地域活動支援センター
- 共同生活援助
- 介護サービス包括型
- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 障害者就業・生活支援センター



主任  
橋本 義隆

長生拠点では、長生地域生活支援センターを中心に、長生プリオ・ワークショップ茂原・ぶらりの四つの事業所で、緊密な連携を相互に図り、一体的に運営していきます。

【長生地域生活支援センター】計画相談は、長生圏域内の相談支援事業所がいずれも手一杯という状況です。長生地域生活支援センターも同様ですが、精神障害者・地域移行支援利用者を中心に新規相談を受けています。I型は、少しずつコロナ禍前の運営に戻していき、プログラムの充実を図ります。

【ぶらり】令和五年三月、新茂原駅から徒歩五分の距離に、新たに「ラナモアナ」を開設し、定員十五名となりました。精神障害者の居住の場が少ないという地域課題に因應するため、地域移行支援等の利用者を積極的に受け入れながら、より一層安定した事業運営を目指します。

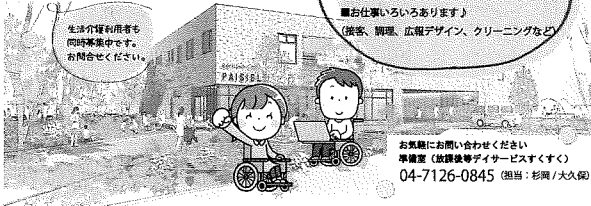


# 各拠点の 新規事業&拡大!

医療的ケアを必要としても  
重い障害があっても  
「働きたい!」と思える未来を

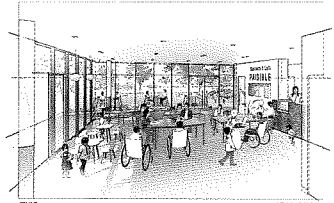
すくすくハウスの完成に先駆けて、身体障害や医療的ケアに対応した生活介護・就労継続支援B型事業所「ペジール高田」が四月より運営を開始しました。法人で積み重ねてきた就労支援のノウハウや、ベーカーリー・カフェの運営ノウハウを生かし、身体に障害を持つ方や医療的ケアを必要とする方が働きやすく、社会参加しやすい環境を整えます。ペジールの言葉が表現するとおり、地域にとっての憩いや癒しとなる場を柏市高田でも育んでいきます。

2023年7月千葉県柏市にOPEN!  
医療的ケア対応複合施設すくすくハウス  
**就労継続支援B型  
オープニングメンバー募集**



対象：おもに身体障害者  
作業内容：サンドイッチカフェでの接客・販売・調理、広報、コーヒーマシン封入作業、クリーニング他  
「働くこと、社会に参加すること」を事業の軸に、車いすでも働きやすい環境の整備や、彼らの力を生かす仕事づくりに取り組めます。また、ケアを目的にするのではなく、働くことにチャレンジできるからだ作りやケアを充実させ、「働きたい!」という気持ち大切にできる事業所づくりに取り組めます。

事業概要  
生活介護  
定員：十名  
対象：おもに重症心身障害者（医療的ケアを必要とする障害者）  
作業内容：コーヒーマシン・パティリーのデザイン、コーヒーマシンの配達、農作業他  
就労継続支援B型  
定員：十名



## ぶらり アパートタイプのグループホームを新設

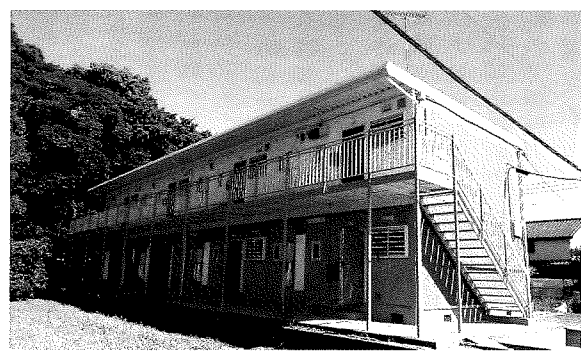
ぶらりでは、令和五年三月に新たに「ラナモアナ」を開設しました。定員を五名増やし十五名定員での運営を開始しました。

ラナモアナは、新茂原駅から徒歩五分の場所にあり、所謂アパートタイプのグループホームとなります。居室は、1LDKか2DKとグループホームでは広い居室に加え、リホームしたばかりの物件なので、浴室・トイレ・独立洗面台・台所もすべて新品です。

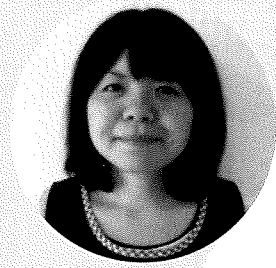
①「今のぶらりよりも、より自立した生活を目指し、ステップアップを図る」、②「地域移行支援を利用した退院促進を図りたい地域ニーズに因應するために、ぶらりの定員を増やす」という二つの目的があります。開所し、早速ぶらりから移った方、地域移行支援の体験利用を経て入所した方がおり、目的に沿って運営を開始しました。

長生圏域は、グループホームがこの二年ほどで増えています。軽度の方を中心にしているホームが大半で、重度の精神障害を支援できるホームは依然足りていない現状があります。併せて、一人暮らしを目指したい

方が希望するアパートタイプのホームもほとんどありません。長生拠点では地域ニーズを的確にキャッチし、今後の事業展開を検討してまいります。(橋本)

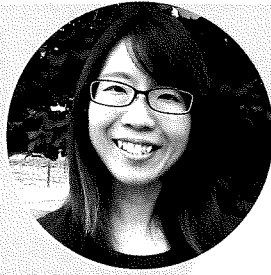


二〇二三年四月 主任



たんぽぽセンター  
渡部 真弓

ワナーホームに入社し、十年目の年に主任に昇格しました。これまでと変わらず、利用児者、ご家族、一緒に働く仲間に対し真摯に向き合いながら業務を行っていくと共に、今後は主任として自事業所の発展にも微力ながらも尽力していきたいと思っています。



ホレブデイサービスセンター  
三好 美瑞

春からは新天地での勤務となります。職員間のコミュニケーションを大切にしてお互いに支えあい助け合える、あたたかな事業所にしていきたいと思います。主任として、業務の効率化・構造化を意識し、支援の質を高め、かつ働きやすい職場環境を整えられるよう尽力します。



パンプキンハウス  
中村 綾乃

新たに主任という役割をいただき、改めて、法人を支える一役割に責任感を感じています。今までは所属事業所の内部を支える役割でしたが、これからは事業所の垣根を超え、拠点全体を見渡せる視野の広い職員になりたいと思います。周りと協力し合える明るい職場を目指し頑張ります。

店長



ベジブル鎌取  
藤平 秀樹



鎌取相談  
支援センター  
山本 佑一郎



みつばち訪問看護  
ステーション  
菊池 貴恵



すくすくジャンプ  
小橋 國康



すくすくジャンプ  
亀澤 真弓

リーダー

わーなー日誌

《柏拠点 すくすく》

「卒園卒業進級お祝い会」

コロナ禍も終息を迎える中すくすくでは三月十八日に卒園卒業進級お祝い会を行いました。

毎年実施しているこの会は、重症児が一年間健やかに成長したことを、関わる皆様でお祝いする会として開催しています。生憎の雨でしたが四事業所合わせ二十七家族と過去最多の参加となりました。また利用児のご兄弟の参加も多く見られました。今年には卒園・卒業児も多く、卒園児三名、小学部卒業生五名、高等部卒業生二名いました。

一年をスライドで振り返りましたが、本当に色々な活動を行いました。写真には子ども達の楽しそうな表情や、たくさんのお祝いメッセージが写っています。

最後に、卒園・卒業証書の授与を行い、保護者の方から一人ずつ、メッセージもいただきました。すくすくへの感謝の言葉もいただき、スタッフ一同感慨深いものがありました。(小橋)

笑顔があり、とても良い時間を一緒に過ごすことができたと感じました。

ベジブル協賛の豪華賞品を賭けた、家族対抗のゲームを実施しました。答え合わせをする度に盛り上がりを見せており、ご家族やご兄弟の方との交流も深めることができました。その後スタッフの出し物としてダンスを披露しました。皆様から拍手で盛り上がり、楽しんでいただくことができました。

「卒園卒業進級お祝い会」

コロナ禍も終息を迎える中すくすくでは三月十八日に卒園卒業進級お祝い会を行いました。

毎年実施しているこの会は、重症児が一年間健やかに成長したことを、関わる皆様でお祝いする会として開催しています。生憎の雨でしたが四事業所合わせ二十七家族と過去最多の参加となりました。また利用児のご兄弟の参加も多く見られました。今年には卒園・卒業児も多く、卒園児三名、小学部卒業生五名、高等部卒業生二名いました。

一年をスライドで振り返りましたが、本当に色々な活動を行いました。写真には子ども達の楽しそうな表情や、たくさんのお祝いメッセージが写っています。

最後に、卒園・卒業証書の授与を行い、保護者の方から一人ずつ、メッセージもいただきました。すくすくへの感謝の言葉もいただき、スタッフ一同感慨深いものがありました。(小橋)

笑顔があり、とても良い時間を一緒に過ごすことができたと感じました。

ベジブル協賛の豪華賞品を賭けた、家族対抗のゲームを実施しました。答え合わせをする度に盛り上がりを見せており、ご家族やご兄弟の方との交流も深めることができました。その後スタッフの出し物としてダンスを披露しました。皆様から拍手で盛り上がり、楽しんでいただくことができました。

「卒園卒業進級お祝い会」

コロナ禍も終息を迎える中すくすくでは三月十八日に卒園卒業進級お祝い会を行いました。



ワナーホームの主な動き

《一月》

- ・初詣(白子神社、九十九里海岸)／ホレブデイサービスセンター
- ・初詣(千葉厄除け不動尊)／ワークシヨップおおあみ
- ・初詣(八街神社)／ワークシヨップしらさと
- ・初詣(玉前神社)／ワークシヨップ茂原
- ・初詣(柏神社)／たんぼぼセンター
- ・初詣(橘樹神社)／だいち
- ・初春ビンゴ大会／フジエール
- ・お正月プログラム書初め、お茶会／クロワール・ファミュー・シエスタ・ノハイツ白里
- ・初詣／わたげワークス
- ・餅つきプログラム／わたげワークス
- ・在職者交流会DVD鑑賞／長生ブリオ

《二月》

- ・節分／ホレブデイサービスセンター
- ・外出プログラム(柏駅前ヤングボウル)／たんぼぼセンター
- ・第四回就労部会及び地域意見交換会(山武健康福祉センター)／山武ブリオ
- ・かたん料理お菓子づくり／長生地域生活支援センター

《三月》

- ・ひな祭り／ホレブデイサービスセンター
- ・お花見(昭和の森)／ホレブデイサービスセンター
- ・お菓子作りホワイトデー／たんぼぼセンター
- ・花見ウィーク／たんぼぼセンター
- ・第二回ピアサポート交流会／山武ブリオ
- ・ピアサポート活動ウォーキング神社参拝(橘樹神社)／長生ブリオ

《四月》

- ・お花見ウォーキング(大堀川沿い)／エクラス



ワナーホームの採用サイトとInstagramを知っていますか？



Instagram



採用サイト

QRコードからInstagram、採用サイトを見ることができます。Instagramのフォローをお願いします。

イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

《会費》

- 賛助会員 三,〇〇〇円(年)
- 正会員 一〇,〇〇〇円(年)

収支決算書

自2022(令和4)年4月 1日 至2023(令和5)年3月31日

イキシア会 単位:円

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
振込料	33,610	会 費 (148名)	818,000
小 計	33,610	小 計	818,000
次期繰越	8,392,960	前期繰越	7,608,570
合 計	8,426,570	合 計	8,426,570

編集後記

皆さんは新年度になり、どのようにお過ごしでしょうか？私は、デスクの上に推し猫のカレンダーを飾り、毎月違う写真を見て癒され、モチベーションを上げています。イキシアも、見て、読んで、楽しみにしてもらえる様、頑張っていきますので、よろしくお願いします。(M)

発行所

ワナーホーム  
イキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL https://www.wanahome.or.jp

発行人 寺田 一郎